

Jer

Chapter 8

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

יהוהּ מְלִכֵי עֲצָמוֹת אֶת- (יִצְיָאוּ) וְיִצְיָאוּ יְהוָה נְאֻם- הָיָא בָּעֵת הַהִיא 1
ユダの 王たちの 骨を を 取り-出す ー 主の 御告げ-である その その-時に
H3063 H4428 H6106 H0853 H3318 H3318 H3068 H5002 H1931 H6256

וְאֵת הַנְּבִיאִים הַנְּבִיאִים עֲצָמוֹת וְאֵת הַכֹּהֲנִים הַכֹּהֲנִים עֲצָמוֹת וְאֵת שָׂרֵי עֲצָמוֹת- וְאֵת-
そして 預言者たちの 骨を そして 祭司たちの 骨を そして その-高官の 骨を そして
H0853 H5030 H6106 H0853 H3548 H6106 H0853 H8269 H6106 H0853

מִקְבְּרֵיהֶם: יְרוּשָׁלַם יוֹשְׁבֵי- עֲצָמוֹת
その-墓から エルサレムの 住民の 骨を
H6913 H3389 H3427 H6106

主は言われる、その時ユダの王たちの骨と、そのつかさたちの骨と、祭司たちの骨と、預言者たちの骨と、エルサレムに住む人々の骨は墓より掘り出されて、

אֲשֶׁר הַשָּׁמַיִם צְבָא וְלִכְלֹל וְלִיָּרֵחַ לְשֶׁמֶשׁ וְשֶׁטְחוֹם 2
その 天の 軍勢の そして-すべての-前に そして-月の-前に 太陽の-前に そして-広げる
H8064 H3605 H3394 H8121 H7849

דְּרָשׁוּם וְאֲשֶׁר אַחֲרֵיהֶם הִלְכּוּ וְאֲשֶׁר עָבְדוּם וְאֲשֶׁר אֶהְבֹּם
尋ねたものを そして-その その-後に 従った そして-その 仕えたものを そして-その 愛したものを
H1875 H1980 H5647 H0157

לְדַמֵּן יִקְבְּרוּ וְלֹא יֵאָסְפוּ לֹא לָהֶם הִשְׁתַּחֲוּוּ וְאֲשֶׁר
肥やしと 葬られない そして-ない 集められない ない それらに ひれ伏した そして-その
H1828 H6912 H3808 H0622 H3808 H7812

יְהִיוּ: הָאֲדָמָה פָּנֵי עַל-
なる 地の 面に に-向けて
H1961 H0127 H6440

彼らの愛し、仕え、従い、求め、また拝んだ、日と月と天の衆群の前にさらされる。その骨は集める者も葬る者もなく、地のおもてに糞土のようになる。

הָרָעָה הַמְשַׁפְּחָה מִן- הַנְּשָׂאֲרִים הַנְּשָׂאֲרִית לְכֹל מַחְיִים מוֹת וְנִבְחָר 3
悪い 氏族の から 残された-者で 残りの-者は すべての 命よりも 死を そして-選ぶ
H4940 H7604 H7611 H3605 H4194 H0977

נְאֻם שָׁם הַחֲתִימִים אֲשֶׁר הַנְּשָׂאֲרִים הַמְּקֻמָּוֹת בְּכָל- הַזֹּאת
御告げ-である そこで わたしが-追い散らした そこに 残っている 場所で すべての-中で この
H5002 H8033 H5080 H7604 H4725 H3605 H2063

ס: צְבָאוֹת: יְהוָה
ー 万軍の 主の
H3068

この悪しき民のうちの残っている残りの者はみな、わたしが追いやった場所で、生きることよりも死ぬことを願うようになると、万軍の主は言われる。

4
 אִם יִקוּמוּ וְלֹא יִהְיֶה אֲמַר כֹּה אֲלֵיהֶם וְאָמַרְתָּ 4
 もし 起き上がらないのか そして-ない 倒れて 主は 言われた こう 彼らに そして-言え
[H3808](#) [H5307](#) [H3068](#) [H0559](#) [H3541](#) [H0413](#) [H0559](#)

יָשׁוּב: וְלֹא יָשׁוּב:
 戻らないのか そして-ない 背いて
[H7725](#) [H3808](#) [H7725](#)

あなたは彼らに言わなければならない。主はこう仰せられる、人は倒れたならば、また起きあがらないであろうか。離れていったならば、帰ってこないであろうか。

5
 מָאֲנִי בְתַרְמִית הַחֲזִיקוּ נִצַּחַת מִשְׁבָּה יְרוּשָׁלַם הַזֶּה הָעָם שׁוֹבְבָה מָדוּעַ 5
 拒んだ 欺きに 固執した 絶えず 背信で エルサレムは この 民は 背いたのか なぜ
[H3985](#) [H2388](#) [H5329](#) [H4878](#) [H3389](#) [H2088](#) [H7725](#) [H4069](#)

לְשׁוּב:
 立ち返ることを
[H7725](#)

それにどうしてこの民は、常にそむいて離れていくのか。彼らは偽りを固くとらえて、帰ってくることを拒んでいる。

6
 עַל- נָחַם אִישׁ אֵין יִדְבְּרוּ כֵן וְאִשְׁמַע לֹא- הַקְשִׁבְתִּי 6
 に-ついて 悔いる-者が 人が ない 語らない 正しく ない そして-聞いた 耳を-傾けた
[H5162](#) [H0376](#) [H0369](#) [H1696](#) [H3808](#) [H8085](#) [H7181](#)

כְּסוּס (בְּמְרוֹצָתָם) שָׁב כָּלָה עָשִׂיתִי מָה לְאָמַר רָעָתוֹ 6
 馬の-ように その-走りに - 立ち-戻る すべてが したのかと 何を 言って その-悪を
[H4794](#) [H4794](#) [H7725](#) [H3605](#) [H4100](#) [H0559](#)

בְּמִלְחָמָה: שׁוֹטָף
 戦いに 突進する
[H4421](#) [H7857](#)

わたしは気をつけて聞いたが、彼らは正しくは語らなかった。その悪を悔いて、『わたしのした事は何か』という者はひとりもない。彼らはみな戦場に、はせ入る馬のように、自分の好きな道に向かう。

7
 וְיֹסִיס(וְיֹסִיס) וְתָר מוֹעֲדֶיהָ יָדְעָה בְּשָׁמַיִם חֲסִידָה גַם- 7
 そして-つばめも - そして-山鳩も その-時を 知っている 天に-いる こうのとりでさえ また
[H5483](#) [H8449](#) [H4150](#) [H3045](#) [H8064](#) [H2624](#) [H1571](#)

מִשְׁפָּט אֶת יָדְעוּ לֹא וְעַמִּי בָּאֵנָה עֵת אֶת- שָׁמְרוּ וְעֹנָר 7
 定めを を 知らない ない しかし-わが-民は その-来る 時を を 守っている そして-鶴も
[H4941](#) [H0853](#) [H3045](#) [H3808](#) [H0935](#) [H6256](#) [H0853](#) [H8104](#) [H5693](#)

יְהוָה:
 主の
[H3068](#)

空のこうのとりでもその時を知り、山ばとと、つばめと、つるはその来る時を守る。しかしわが民は主のおきてを知らない。

8
 אֲכֹן אֲתָנִי יְהוָה וְתוֹרַת אֲנֹחֲנוּ חֲכָמִים תְּאָמְרוּ אֵיכָה 8
 まことに 我々と-共に-あると 主の そして-律法が 我々はと 賢い 言えるのか どうして
[H0403](#) [H0854](#) [H3068](#) [H8451](#) [H0587](#) [H2450](#) [H0559](#)

סִפְרִים: שָׁקֵר עֵט עֲשָׂה לְשָׁקֵר הַנֶּה 8
 書記たちの 偽りの 筆が 作った 偽りの-ために 見よ
[H8267](#) [H5842](#) [H8267](#) [H2009](#)

どうしてあなたがたは、『われわれには知恵がある、主のおきてがある』と言うことができようか。見よ、まことに書記の偽りの筆がこれを偽りにしたのだ。

9
 מָאָסוּ יְהוָה בְּדַבָּר־ הִנֵּה וַיִּלְכְּדוּ חָתוּ חֲכָמִים הַכְּבִישׁוּ
 退けた 主の 言葉を 見よ そして-捕えられた 恐れおののいた 賢い-者たちは 恥を-受けた
[H3068](#) [H1697](#) [H2009](#) [H3920](#) [H2865](#) [H2450](#) [H0954](#)

וְחִכְמַת־ לָהֶם: מָה וְחִכְמַת־
 一 彼らにとって 何の そして-知恵は
[H4100](#) [H2451](#)

知恵ある者は、はずかしめられ、あわてふためき、捕えられる。見よ、彼らは主の言葉を捨てた、彼らになんの知恵が
 であろうか。

10
 מִקָּטָן כִּי לְיוֹרְשִׁים שְׂדוֹתֵיהֶם לְאַחֵרִים נְשִׂיהֶם אֶתְּן אֶתְּן לְכֹן
 小さい-者から なぜなら 奪う-者に その-畑を 他人に その-妻たちを を 与える それゆえ
[H3423](#) [H0312](#) [H0802](#) [H0853](#) [H5414](#)

כֹּהֵן וְעַד־ מִנְבִּיאַת בָּצַע בָּצַע כֻּלָּה נְדוּל וְעַד־
 祭司まで そして-まで 預言者から 利得を むさぼっている すべてが 大きな-者まで そして-まで
[H3548](#) [H5704](#) [H5030](#) [H1215](#) [H1214](#) [H3605](#) [H5704](#)

כֻּלָּה עֹשֶׂה שֶׁקֶר: כֻּלָּה
 すべてが 行っている 偽りを すべてが
[H8267](#) [H3605](#)

それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に与え、その畑を征服者に与える。それは彼らが小さい者から大きい者にいたるま
 で、みな不正な利をむさぼり、預言者から祭司にいたるまで、みな偽りを行っているからである。

11
 שְׁלוֹם וְשְׁלוֹם לְאָמַר נִקְלָה עַל־ עַמִּי בַת־ שָׁבַר אֶת־ וַיִּרְפוּ
 平和と 平和 言って 軽く で わが-民の 娘の 傷を を そして-癒した
[H7965](#) [H7965](#) [H0559](#) [H7043](#) [H1323](#) [H7667](#) [H0853](#) [H7495](#)

וְאִין שְׁלוֹם: וְאִין
 しかし-ない 平和は
[H7965](#) [H0369](#)

彼らは手軽に、わたしの民の傷をいやし、平安がないのに、『平安、平安』と言っている。

12
 וַיִּבְשׁוּ הַכְּבִישׁוּ כִּי תוֹעֵבָה עָשׂוּ גַם־ בּוֹשׁ לֹא־ יִבְשׁוּ
 恥じない 恥じたか 恥じることを 恥じることを 行つた 忌まわしいことを なぜなら 恥じたか
[H0954](#) [H3808](#) [H0954](#) [H1571](#) [H8441](#) [H3001](#)

וְהִכְלַם לֹא יָדְעוּ לָכֹן יִפְלוּ בְּעַת־ בְּנִפְלִים
 その-罰の 時に 倒れる-者と-共に 倒れる それゆえ 知らない ない そして-赤面することを
[H6486](#) [H6256](#) [H5307](#) [H5307](#) [H3045](#) [H3808](#) [H3637](#)

וַיִּכְשְׁלוּ אָמַר יְהוָה: וְיִכְשְׁלוּ
 一 主は 言われた つまずく
[H3068](#) [H0559](#) [H3782](#)

彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。すこしも恥ずかしいとは思わず、また恥じることを知らなかった。そ
 れゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。わたしが彼らを罰するとき、彼らは倒れると、主は言われる。

13
 תֵּאָנִים אֶסְרָ אֶסְרִים אִין יְהוָה נֶאֱמַר אֶסְרִים אֶסְרָ וְאִין
 いちじくが そして-ない ぶどうの-木に ぶどうが ない 主の 御告げ-である 集める 念入りに
[H8384](#) [H0369](#) [H1612](#) [H6025](#) [H0369](#) [H3068](#) [H5002](#) [H5486](#) [H0622](#)

וְהַעֲלָה נָבֵל בְּתֵאנָה וְהַעֲלָה
 過ぎ-去る 彼らに そして-与えた 枯れた そして-葉は いちじくの-木に
[H1992](#) [H5414](#) [H5929](#) [H8384](#)

主は言われる、わたしが集めようと思うとき、ぶどうの木にぶどうはなく、いちじくの木に、いちじくはなく、葉さ
 え、しぼんでいる。わたしが彼らに与えたものも、彼らを離れて、うせ去った」。

14
 要塞の 町々の 中へ そして-入ろう 集まれ 座っているのか 我々は なぜ に-対して
 H4013 H0413 H0935 H0622 H3427 H0587 H4100

毒の 水を そして-飲ませた 滅ぼした 我々の-神が 主が なぜなら そこで そして-滅びよう
 H7219 H4325 H8248 H0430 H3068 H8033

主に-対して 罪を-犯した なぜなら
 H3068 H2398

どうしてわれわれはなす事もなく座しているのか。集まって、堅固な町にはいり、そこでわれわれは滅びよう。われわれが主に罪を犯したので、われわれの神、主がわれわれを滅ぼそうとして、毒の水を飲ませられるのだ。

15
 恐怖だ しかし-見よ 癒しの 時を 良い-ことは しかし-ない 平和を 望んだ
 H1205 H2009 H4832 H6256 H0369 H7965

われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。

16
 すべての 震えた その-軍馬の いななきの 音に その-馬の いななきが 聞こえた ダンから
 H3605 H7493 H0047 H4684 H8085 H1835

町を そして-その-満ちたるものを 地を そして-食い尽くした そして-来た 地が
 H4393 H0776 H0398 H0935 H0776

— その-中の そして-その-住民を
 H3427

「彼らの馬のいななきはダンから聞えてくる。彼らの強い馬の声によって全地は震う。彼らは来て、この地と、ここにあるすべてのもの、町と、そのうちに住む者とを食い滅ぼす。

17
 それには ない それには 毒蛇を 蛇を あなたがたの-中に 送る 見よ-わたしは まことに
 H0369 H5175 H7971 H2009

— 主の 御告げ-である あなたがたを そして-贈む まじないが-きかない
 H3068 H5002 H0853 H3908

見よ、魔法をもってならすことのできない、へびや、まむしをあなたがたのうちにつかわす。それはあなたがたをかむ」と主は言われる。

18
 病んでいる わが-心は わたしの-上に 悲しみに に-対して わが-懐めよ
 H1742 H3015 H4010

わが嘆きはいやしがたく、わが心はうちに悩む。

הִנֵּה־	קוֹל	שׁוֹעֵת	בַּת־	עַמִּי	מֵאֶרֶץ	מְרַחֲקִים	הִיהוּהַ	אֵין	בְּצִיּוֹן	19
見よ	声が	叫びの	娘の	わが-民の	地から	遠い	主は	いないのか	シオンに	
H2009	H7775	H1323	H0776	H0776	H4801	H3068	H0369	H6726		
אִם־	מַלְכָּהּ	אֵין	בָּהּ	מִדּוּעַ	הֲכַעֲסוּנִי	בַּפְּסִלִיָּהֶם	בְּהֶבְלִי			
あるいは	その-王は	いないのか	その-中に	なぜ	怒らせたのか	その-偶像で	空しい-もので			
	H4428	H0369	H4069	H3707	H6456	H1892				

יָכַר:
異国の
[H5236](#)

聞け、地の全面から、わが民の娘の声があがるのを。「主はシオンにおられないのか、シオンの王はそのうちにおられないのか」。「なぜ彼らはその彫像と、異邦の偶像とをもって、わたしを怒らせたのか」。

עָבַר	קָצִיר	כָּלָה	קָיִץ	וְאֵנָּחֵנוּ	לֹא	נִוָּשָׁעֵנוּ:	20
過ぎた	刈り入れは	終わった	夏は	しかし-我々は	ない	救われていない	
	H3615	H7019	H0587	H3808	H3467		

「刈入れの時は過ぎ、夏もはや終わった、しかしわれわれはまだ救われない」。

עַל־	שָׁבַר	בַּת־	עַמִּי	הַשְּׁבָרָתִי	קָדְרָתִי	שָׂמָה	הֶחֱזַקְתֵּנִי:	21
に-ついて	傷の	娘の	わが-民の	砕かれた	暗く-なった	驚きが	捕らえた	
	H7667	H1323	H7665	H6937	H8047	H2388		

わが民の娘の傷によって、わが心は痛む。わたしは嘆き、うろたえる。

הַצָּרִי	אֵין	בְּגִלְעָד	אִם־	רַפָּא	אֵין	שָׁם	כִּי	מִדּוּעַ	לֹא	22
乳香は	ないのか	ギレアデに	あるいは	医者は	いないのか	そこに	なぜなら	なぜ	ない	
H6875	H0369	H1568	H7495	H0369	H8033	H4069	H3808			

עֲלֶתָהּ
אֲרַכָּת
בַּת־
עַמִּי:
上って-来ないのか
癒しが
わが-民の
娘の

[H5927](#) [H0724](#) [H1323](#)

ギレアデに乳香があるではないか。その所に医者があるではないか。それにどうしてわが民の娘はいやされることがないのか。